北海道短期大学
●「専修大学北海道短期大学」ホームページ●　http://www.senshu-hc.ac.jp

代表電話番号
0126
(63)4321
代表FAX番号
0126
(63)3097

最終章～みんなで盛り上がっていこうぜ！

第42回北鳳祭 大盛況

体育祭は2種目で熱戦

▲　お笑い芸人２組の司会で「ビンゴ大会」

▲　ダンス部のパフォーマンス

「第42回北鳳祭」が10月9日、本学キャンパスで開催された。最後の大規模な学園祭ということで、「最終章～みんなで盛り上がっていこうぜ！」をテーマに、サークルやゼミによる模擬店、各種イベントやライブが催され、学生のほか多くの市民が来場し、大盛況だった。

▲　熱戦を繰り広げたフットサル

午前中の第1部は「第41回体育祭」と「ミニ・オープンカレッジ」が行われた。2種目で熱戦を繰り広げた体育祭は、バスケットボールで留学生たちの「チームチャイナ」が、フットサルで「チームオブチョモランマ」が優勝。また、小・中学生を対象とした「ミニ・オープンカレッジ」は、「ミクロの世界を見てみよう」など3テーマについて、教員や学生の指導を受けながら、温室・実験室・演習林で体験学習を行った。

▲　オープニングに行われた「もちまき」

第2部は、実行委員が企画した「のど自慢大会」「未青年の主張」「クイズ大会」など多くのイベントが行われた。軽音楽同好会・ダンス部のライブの後、「スピーカーズ」「加我正源」の2組による「札幌よしもと爆笑ライブ」で会場の盛り上がりはピークに。最後に豪華景品をかけた「ビンゴ大会」が行われ、楽しい一日を終えた。

上田将実行委員長（商経1・東京都多摩大学目黒高）は「最後の北鳳祭になるかも知れないと思い、実行委員が一丸となって頑張り、一生懸命に企画を練りました。無事に終了することができ、ほっとしています。来場してくださった皆さんにお礼申し上げます」と話した。

大人気の園内を見学

旭山動物園ツアー

美瑛町の田園も散策

▲　「エゾシカの森」で

北海道の景勝地を訪れ、風土や自然を体感する学生部主催バスツアーの一つ「旭山動物園ツアー」が10月2日に開催された。絶好の行楽日和のなか、学生・引率を含め35人が参加し、旭山動物園と美瑛町を散策した。

最初に旭山動物園へ。記念撮影の後、大人気の「ホッキョクグマ館」「アザラシ館」をはじめ、「ペンギン館」「もうじゅう舎」など、観光客でにぎわう園内を見学した。

▲　人気スポット「青い池」をバックに

続いて訪れた美瑛町では、十勝岳噴火後の堰堤（えんてい）にできた「青い池」、田園風景が一望できる「新栄の丘展望公園」を散策。また、道の駅「びえい丘のくら」でソフトクリームやポテトチップスなど、〝美瑛の味〟を満喫した。

なお、12月には同ツアーの締めくくりとして「スキー・スノーボードツアー」を予定している。

第1農場で「稲刈り」

「おぼろづき」500キロを収穫

▲　手作業で稲を刈り取る学生たち

実りの秋を迎え、9月28日に本学第1農場で「稲刈り」が実施された。みどりの総合科学科の1年次生ら20人が参加。手作業での刈り取りを体験した後、コンバインを用いた機械作業の実習を兼ね、「おぼろづき」を収穫した。

今年の北海道平均の作柄（作況指数）は98で、本学もやや不良の96。また、有機無農薬での栽培を行っていたが、害虫が発生したため農薬を一部散布し、「特別栽培米」として出荷される。収穫量は精米にして約500キロだった。

また、第2農場で収穫した韃靼（だったん）そばが専修大学のホームカミングデー（11月6日、生田キャンパス）で販売される予定。

札幌学生野球秋季リーグ戦 3部で優勝

最優秀選手に藤井健太さん

札幌学生野球秋季リーグ戦（3部）の優勝決定戦が9月15日、栗山町民球場で行われ、硬式野球部が2―1で札幌国際大を下し、優勝を決めた。

先制を許したものの、先発の金丸翔司さん（みどり1・北海道留辺蘂高）が力投。打線も奮起し、8回に2点を挙げて逆転。このリードをエース・木村貴侑さん（商経2・群馬県沼田高）が守り、有終の美を飾った。

なお、リーグ戦の個人賞は次の通り（敬称略）。

▽最優秀選手賞＝藤井健太（商経2・山梨県日本航空高）▽最優秀投手賞＝木村▽ベストナイン・投手＝木村／同三塁手＝熊倉卓朗（商経2・新潟県三条東高）／同遊撃手＝齊藤隆男（商経2・群馬県明和県央高）

▼　発表した８人の留学生たち。前列中央が最優秀賞の王さん

第７回留学生日本語スピーチコンテスト

最優秀賞は王訳晗さん

ごみ分別の苦労交え発表

留学生の日本語スピーチ力を競う「第7回留学生日本語スピーチコンテスト」が9月15日、本学134教室で催された。事前審査で選考された中国・黒竜江農業職業技術学院からの留学生8人が出場し、学生・一般市民を前に、堂々としたスピーチを披露した。

日高文夫学生部長、足達健夫、森山軍治郎両学科長、学生自治会の笹浪聖子委員長（商経2・北海道美幌農業高）が審査を担当。「環境を大切に」をテーマに来日当初、ごみの分別に戸惑った経験を交え、環境保護の大切さについて発表した王訳晗さん（商経1）が最優秀賞に輝いた。王さんは「今後も経済をはじめ、日本のことを学んでいきたい」と感想を話した。

その他の入賞者は次の通り（敬称略）。

▽優秀賞＝姚文明（みどり1）▽努力賞＝張孝存（みどり1）、呉崇洋（みどり1）

研究室特別展を開催

美唄市立図書館で

9月23日から10月7日まで、美唄市立図書館の1階ロビーで「専修短大の研究室特別展」が開催された。

この企画は各研究室の活動を知ってもらおうと08年から行われ、今年で3回目。会場には「北海道の植生群落の現状と保護保全」「JAびばいにおけるハスカップの生産と販売」などの12のブースが設けられた。各ブースには研究内容をまとめたポスターや研究対象物、学生や卒業生が作成した模型などの成果物が掲示され、来場者の関心を集めた。

▲　興味深く造園模型を見つめる来場者たち

キッズ・ベースボールin専修

野球部員が運営に協力

児童は北鳳祭にも参加

▲　審判を務める野球部員

「第6回キッズ・ベースボールin専修」が10月9日、本学野球場で実施された。この大会は地域貢献の一環として行われており、施設提供のほか、硬式野球部の部員が審判を務め、大会運営に協力している。

今大会では「美唄東リトルベアーズ」がトーナメントを制し、優勝カップを手にした。

また、参加した児童らは北鳳祭にも参加し、模擬店や「ビンゴ大会」などの企画も楽しんだ。